



2009 年

前田憲二 監督作品

[長編記録映画]

月下の侵略者

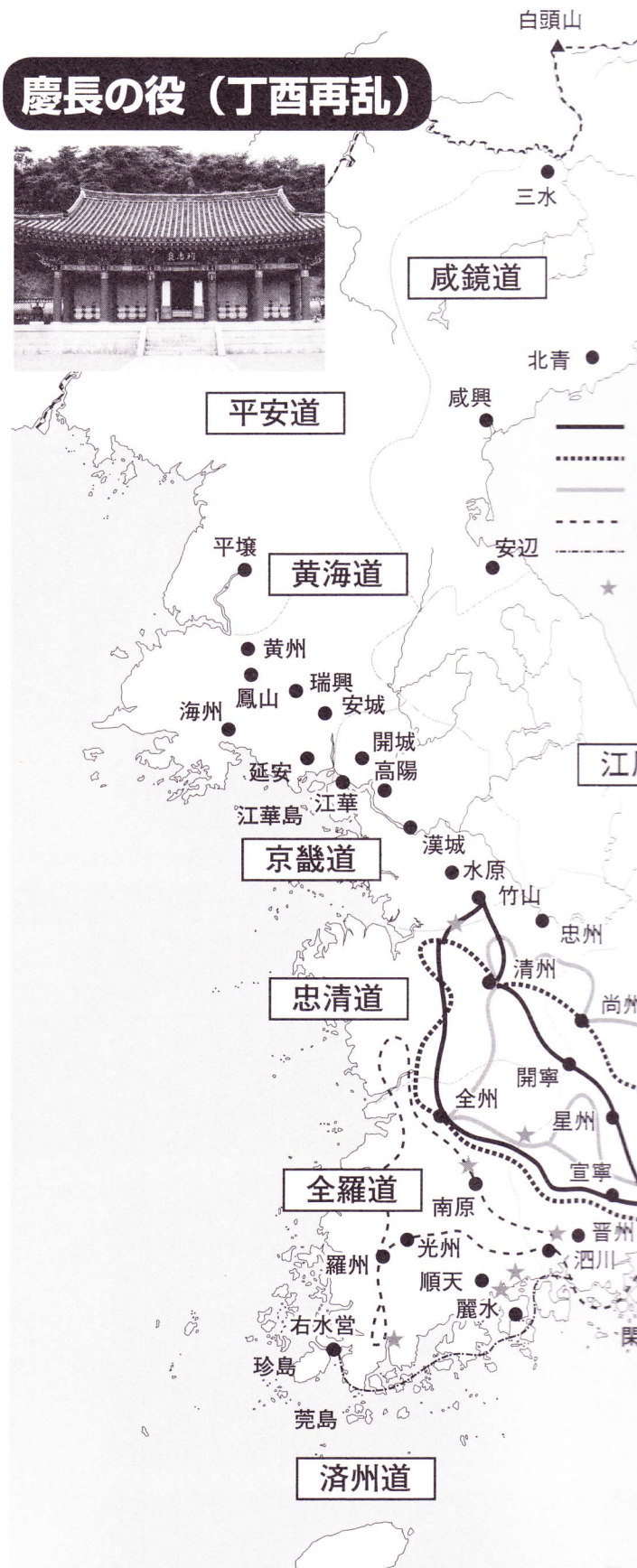
— 文禄・慶長の役と耳塚 —



年	月	こと	が	ら
文禄 5 (1596)	1	・小西行長が沈惟敬を伴い名護屋城へ向う		
[10.27 に改元 →慶長元年]	9	・秀吉が大坂城で明国使節を引見。明の 国書に怒り朝鮮再征令を下す		
慶長 2 (1597)	2	・秀吉、再派兵の陣立て発令		
	3	・加藤清正の求めに応じて惟政（四溟堂） 西生浦城を訪れる		
	7	・巨済島沖海戦		
		・李舜臣、全羅左水使兼三道統制使に		
	8	・南原城陥落		
	9	・稷山の戦い		
		・李舜臣、鳴梁津で倭水軍破る		
	10	・倭軍、朝鮮南沿岸各地に退却し倭城築城		
	11	・秀吉、朝鮮各職種工人の連行を指示		
	12	・明・朝鮮軍蔚山城攻撃		
慶長 3 (1598)	2	・朝鮮に秀吉急逝の噂が流れる		
		・明の増援軍が鴨緑江を越える		
	3	・秀吉が醍醐寺で花見の茶会		
	5	・秀吉が病床につく		
	8	・五大老・五奉行引見、秀頼のこと託す		
		・秀吉、伏見城にて死す		
		・秀吉の没後、朝鮮の諸将に撤退指示		
	10	・泗川の戦い		
		・順天の戦い		
	11	・露梁津海戦で李舜臣死去		
		・倭軍、釜山へ終結後日本へ帰還		
慶長 4 (1599)	12	・徳川家康が島津氏に質官茅国科の明へ の送還を命じる		
慶長 5 (1600)	9	・関ヶ原の戦い		
	11	・明軍が朝鮮半島から完全撤退		
慶長 8 (1603)	2	・徳川家康が征夷大將軍になる		
慶長 9 (1604)	7	・朝鮮政府が「探賊使」として惟政（四溟堂） を派遣		
慶長 10 (1605)	3	・家康、伏見城で惟政（四溟堂）を引見		
		・惟政、捕虜 1,400 人とともに帰国		
慶長 11 (1606)	11	・家康の国書が朝鮮に送達され「犯陵賊」の 引き渡しが行われる		
慶長 12 (1607)	1	・朝鮮使節の「回答兼刷還使」（1636 年の第 4 回の使節団からは「通信使」と呼ぶ）が 日本へ向かう		
	5	・朝鮮使節、国書を將軍に奉呈。朝鮮国 と日本の国交回復なる		

* 以上「文禄・慶長の役」に関する年表は李義則が作成し、倭軍の侵攻ルート図は田中等が主に『秀吉の朝鮮侵略』（北島万次著、山川出版社）に拠って作図した。

慶長の役（丁酉再乱）



年	月	こと
長 5 (1596)	1	・小西行長が沈惟敬を伴い名護屋城へ向う
0.27 に改元 →慶長元年]	9	・秀吉が大阪城で明国使節を引見。明の 国書に怒り朝鮮再征令を下す
長 2 (1597)	2	・秀吉、再派兵の陣立て発令
	3	・加藤清正の求めに応じて惟政（四溟堂） 西生浦城を訪れる
	7	・巨済島沖海戦 ・李舜臣、全羅左水使兼三道統制使に
	8	・南原城陥落
	9	・稷山の戦い ・李舜臣、鳴梁津で倭水軍破る
	10	・倭軍、朝鮮南沿岸各地に退却し倭城築城
	11	・秀吉、朝鮮各職種工人の連行を指示
	12	・明・朝鮮軍蔚山城攻撃
長 3 (1598)	2	・朝鮮に秀吉急逝の噂が流れる ・明の増援軍が鴨緑江を越える
	3	・秀吉が醍醐寺で花見の茶会
	5	・秀吉が病床につく
	8	・五大老・五奉行引見、秀頼のこと託す ・秀吉、伏見城にて死す ・秀吉の没後、朝鮮の諸将に撤退指示
	10	・泗川の戦い ・順天の戦い
	11	・露梁津海戦で李舜臣死去 ・倭軍、釜山へ終結後日本へ帰還
長 4 (1599)	12	・徳川家康が島津氏に質官茅国科の明へ の送還を命じる
長 5 (1600)	9	・関ヶ原の戦い
	11	・明軍が朝鮮半島から完全撤退
長 8 (1603)	2	・徳川家康が征夷大將軍になる
長 9 (1604)	7	・朝鮮政府が「探賊使」として惟政（四溟堂） を派遣
長 10 (1605)	3	・家康、伏見城で惟政（四溟堂）を引見 ・惟政、捕虜 1,400 人とともに帰国
長 11 (1606)	11	・家康の国書が朝鮮に送達され「犯陵賊」の 引き渡しが行われる
長 12 (1607)	1	・朝鮮使節の「回答兼刷還使」（1636 年の第 4 回の使節団からは「通信使」と呼ぶ）が 日本へ向かう
	5	・朝鮮使節、国書を將軍に奉呈。朝鮮国 と日本の国交回復なる

* 以上「文禄・慶長の役」に関する年表は李義則が作成し、倭軍の侵攻ルート図は田中等が主に『秀吉の朝鮮侵略』（北島万次著、山川出版社）に拠って作図した。

慶長の役（丁酉再乱）



◆スタッフ

プロデューサー：イ・ウィチク
中 智
前田憲二

監督：前田憲二
音楽：金永東
絵画：呉炳学
舞踊：印南順
撮影：北村徳男 森田 晃
ナレーター：金守珍 池田昌子
製作進行：申東凡
コーディネーター：吉英淑
進行助手：桜井 剛
合唱：ソウル合唱団
演奏：国楽管弦楽団 未来
尺八：宮田耕八朗
音楽スタジオ：ソウル EARMAX
ミキサー：李韓鐵
宣伝デザイン：田中 等
ビデオ編集：読売映像
フィルム製作：ヨコシネ DIA
空撮：(有) クリエーション
製作委員：尹達世 金床憲
中 智 山本和信
高炫美 李義則

◆支援団体

< 韓国 >

東北亜歴史財団
S B S
韓国映画振興財団

< 日本 >

医療法人社団八千代病院
(株) 韓哲文化財団
(株) マルハン
成田興業(株)

東京観光 (株)
モナミ商事 (株)
フジメディカル (株)
三越土地 (株)
医療法人正信会

◆協力者

韓国

安城市
南原市
南原文化院
蔚洲郡庁文化観光課
慶尚南道文化遺産開設作業議会
国立晋州博物館
(社) 霊光内山書院保存会
(社) 蔚山壬乱義士崇慕会
(社) 四溟堂記念事業会
金忠善 (沙也可) 研究会
忠肅公李芸崇慕会

日本

駐日韓国大使館韓国文化院
朝鮮対外文化連絡協会
古三津巖島神社
佐賀県立名護屋博物館
福山市鞆の浦歴史民俗資料館
(株) 日本ドキュメンタリーフィルム

◆政策協力呼びかけ人

< 韓国 >

李御寧
李杜鉉
李美卿
呉在熙
任軒永
金完柱
金恩正
金東虎
金宗圭
尹炯斗
韓勝憲
張永達
柳鐘玄
任永勲

< 日本 >

上田正昭
呉徳洙
呉炳学
加賀乙彦
鎌田 慧
川村 湊
姜在彦
姜仁秀
権銘大
沈壽官
仲尾 宏
針生一郎
柳箕桓
李龍河

◆企画・製作

NPO 法人ハヌルハウス
映像ハヌルビデオプロジェクト

(上映時間 2 時間 48 分)

◆「耳塚」賛同人

アーキブレーン／青柳恵郎／荒
田八州穂／在田正秀／池松綾子
志／石渡博明／泉谷由紀／伊藤
藤淳子／伊藤久雄／伊藤宏子
コハル／医療法人鎮誠会／上田
里はる美／大石金二郎／大塚信
祥堯／加賀乙彦／柿崎千枝子
子／梶村浩史／片桐孝二／加藤
商事会長 韓貞洙／兼崎暉／カマ
亀井雅一／河本潤／姜在彦 姜
基／喫茶ロン／木下茂樹／木下
金圭湘／金順子／金順徹／金雪
／金容鎬／工藤義実／高炫美
権養燮／在日本韓国 YMCA 青
合／妻家房／崔碩義／崔相英
佐川修／佐々木真治／佐々木民
藤好行／柴田ミサヲ／島津威雄
賢／徐健杓／釈法縁／菅沼宏
／滝啓子／竹内重善／竹内康人
子／多田恒雄／館野哲／趙乙林
辻田丞治／坪井秀雄／津田邦彦
澄恵／伊佐／鄭雪子／鄭勝大
／中尾信之／中原孝介／中村日
教職員組合／西尾礼子／西田文
千恵子／二上映子／野中満良
田義治／原富照／朴紀子／朴忠
直次／日隈隆子／日原章介／福
古沢芳枝／藤本正雄／藤原学
／真亀生協グループ／蔭元義孝
子／松田富紀子／松本昭文／真
ル／丸茂秀直／水野勝治／溝江
米子／三村純／都相海／宮田耕
団山梨県地方本部／村上恒夫
ハツ繁要／有限会社ハリモト
岡千恵子／吉水仁志／山田昭次
李粉順／李静子／李重盛／李相鎬
Colombed 'Or／梁桂銘／和田正

(敬称略)

名前公表不可 26 人